

令和5年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

かほく市立宇ノ気中学校

校長 本山 久美子

1 経営理念

- (1) 学校は、基礎・基本の定着と活用力の向上を図り、主体的に学ぼうとする態度を育成する場である。
- (2) 学校は、組織的な取組で生徒の「人間力」を育成する場である。
- (3) 学校は、健康・体力向上への意識を高め、積極的に挑戦する場である。
- (4) 学校は、安全で美しく整備され、生徒が生き生きと自ら活動できる場である。
- (5) 学校は、地域に根ざし、生徒・保護者・地域に信頼される場である。

2 教育目標 知性と創造力に富み 人間性豊かな たくましい生徒の育成

3 中・長期的目標

- (1) めざす生徒像 *自分の考えを積極的に表現する生徒
 - ①自ら学び自ら考え、向上心を持って意欲的に取り組む生徒
 - ②互いに尊重し、思いやりと豊かな心を持って行動する生徒
 - ③集団生活での規範意識を持ち、責任を持って行動する生徒
 - ④健やかに生きる体力や健康づくりに積極的に取り組む生徒
 - ⑤郷土の自然や文化に親しみ、地域を愛する生徒
- (2) めざす教師像 *情熱と使命感を忘れない教師
 - ①生徒の成長を願い、強い情熱と使命感を持つ教師
 - ②教育の専門家として自己研鑽に励み、確かな力量を持つ教師
 - ③組織の一員としての自覚をもとに、協力して職務を遂行する教師
 - ④生徒・保護者・地域から信頼される、豊かな人間性を持つ教師
- (3) めざす学校像 *楽しい学校・学級
 - ①生徒が生き生きと活動する、さわやかな活力ある学校
 - ②安全・安心で、一人一人の生徒の居場所のある学校
 - ③保護者や地域に信頼される学校

4 学校の現状

- (1) 学習面について **学校課題1** 学力向上対策
 - ・受け身の授業態度が見られることから、令和3年度より「自分の考えを積極的に表現する生徒の育成」をカリ・マネの柱として取組を進めている。授業に限らず、あらゆる教育活動を通して高めることに取り組んでいる。
 - ・生徒の興味関心を引き付ける教員の授業力向上が課題である。「思考の流れ」を意識した授業実践を目指すと共に、生徒指導の3機能を生かした授業実践に取り組んでいるが授業力向上を目指した校内研修や要請訪問等を継続していく必要がある。
- (2) 生活面について **学校課題2** 不登校・いじめ対策
 - ・「あいさつ」に重点を置き、継続的な取組を進め、成果が上がり始めてきた。生徒たちに来校者や地域の声を聞かせ、褒めを大切にしながら指導を行っているが、地域での挨拶については課題が多い。
 - ・不登校対策については、市教育センター、教育相談員（市費）、スクールカウンセラー、県中央児童相談所等との連携を図りながら、一人一人に応じた対応を基本として、組織対応を進めているが、成果が上がっていないのが現状である。年度当初において、個別支援計画の見直しやケース会議を要する生徒の確認を進めていく。
 - ・いじめ事案への対応は、初動が全てであり、迅速かつ組織的な動きを大切に取り組んでいる。何事にも「最悪を想定」して対処する教員の力を高めるために、若プロ等の研修の機会を設定する。

5 カリキュラム・マネジメント（短期目標）

（1）カリキュラム・マネジメントの柱

自分の考えを積極的に表現する生徒の育成

（2）現状

△真面目な生徒が多いが、受け身の授業態度が見られ、良い考えを持っていても表現（話す、書く等）することが苦手な生徒が多い。

○学校評価の数値は、上がっているが言い切りの数値にこだわり、この2年間の取組の成果を継続させたい。

「自分の考えを積極的に表現できているか？」

R3年度 ◎7月調査：70%（26%） ◎12月調査：84%（33%）

R4年度 ◎7月調査：93%（64%） ◎12月調査：91%（52%）

（3）取組内容

- ・カリ・マネの柱に基づいた「教科におけるめざす生徒像」を設定し、すべての教職員の共通理解の下、教育活動を実施する。
- ・日々の教育活動において、学級担任や教科担任からの意識づけや、全校集会やお昼の放送、ホームページや便りを利用した、生徒の活動の成果を発信する。
- ・人的、物的資源を教科や活動の内容に応じて、効果的に活用する。
- ・各種調査結果やデータ等を分析、検証し、学校運営評議会委員の意見を反映させ改善する。

6 短期（今年度）経営目標と取組内容

魅力のある学校づくり

- 組織的な学校運営 …… 共通実践の徹底は組織力を最大限に引き出す
- 人間力の育成 …… 自分を高める力、自分と向き合う力、他者とつながる力
- 質の高い教職員集団 … 凡事徹底、率先垂範

（1）学力向上に向けた計画的実践

- ①学力向上に向けた授業改善
 - ・学習指導要領に対応した授業力の向上（思考の流れ・生徒指導の3機能）
- ②校内研修の充実 ★
 - ・ねらいを達成する授業後半の深い学びの充実
 - ・教科部会の活性化と要請訪問の実施
- ③GIGA スクール構想の推進
 - ・授業のねらい達成に向けたICTの積極的・効果的活用
- ④学力向上ロードマップに基づいた指導方法の工夫
 - ・国県市の学力調査結果の分析と有効活用、過去問の効果的活用

（2）生徒指導の充実（自己指導能力の育成）

- ①積極的な生徒指導の推進
 - ・伸び伸びと過ごせる楽しい学校・学級づくり
 - ・「認めて」「褒めて」「伸ばす」指導の充実（集団の質向上へ繋げる実践）
- ②いじめ・不登校への適切な対応 ★
 - ・Googlefoamを活用したアンケート実施、未然防止・早期発見・早期解決
- ③基本的生活習慣を高める指導の徹底 …「時を守り、場を清め、礼を正す」
 - ・時間を守る行動、黙働清掃、元気な挨拶等
 - ・生徒活動の活性化により充実を図る（生徒会・3役会の活性化）
- ④教育相談の充実（不登校への対応と未然防止）
 - ・スクールカウンセラーとの計画的面談、関係機関との連携・協力
 - ・I-check やエンカウンター等の積極的な取組
- ⑤特別支援教育の充実 ★
 - ・特別支援の視点を生かした環境設定や指導の工夫

(3) 信頼される学校づくり

- ①コミュニティ・スクールの推進
 - ・地域人材の積極的活用 (積極的に表現し、発信する生徒の育成に向けて)
- ②積極的な情報発信と学校公開
 - ・ホームページ、学校だより等の充実、新聞への意見投稿
- ③小中・中中連携の推進
 - ・相互授業参観や交流活動の充実 (9年間で育てる意識)

(4) 教員の人材育成

- ①「若手教員早期育成プログラム」の計画的実践 ★
 - ・メンターのバディ制による若プロ (学期に1回程度の定期懇談実施)
- ②「ミドルリーダー育成」の計画的実践 ★
 - ・プレゼン力、企画力・提案力を鍛える場の設定
- ③研修履歴を活用した資質向上 ★

(5) 教職員多忙化改善に向けた取組の推進

- ①業務の効率化を図るための取組の推進
 - ・前例踏襲主義からの脱却 (超過勤務縮減のための定期ヒアリング実施)
- ②部活動練習等の効率化
 - ・練習内容の効率化を常に追求
- ③部活動地域移行に向けた地域との連携 ★

★かほく市重点目標